

【言語技術系統表】（論理表現力）

	基礎の力			読む力 (読み解く力)	書く力	聞く力	話す力
	①音読	②視写・メモ	③言語				
低学年	①音読	○語や文としてのまとまりを意識して読む。 ○1分間100~150字	○楽しく読む。 ○時間的な順序、事柄の順序を考えて読む。 ○文章の内容の大体を読み取る。 ○文章構成「はじめ・なか・まとめ（おわり）」が分かる。	○主述の整った文を書く。 ○1行1事項の文を書く。 ○書きたいことを決めて書く。 ○順序を考えて書く。 ○はじめ・なか・まとめ（おわり）の簡単な組み立てで書く。	○物語や話を楽しんで聞く。 ○大事なことを落とさず聞く。 ・5W1H ・2つのキーワード 《○○は、△△である。》 ○話を聞いて質問する。	○姿勢・口形などに注意してはっきりした発音で話す。 ○丁寧な言葉で話す。 ○事柄の順序を考えながら話す。 ○はじめ・なか・まとめ（おわり）の組み立てで話す。	
	②視写	○正しい姿勢で、用具を正しく用いて文字を書く。 ○1分間…10~15文字					
	③言語	○ひらがな・片仮名を正しく表記する。 ○筆順に従って漢字を書く。					
中学年	①音読	○なめらかに正しく音読する。 ○1分間200~250字	○文章構成（はじめ・なか・まとめ）を意識して、簡単な論理的文章教材（説明文）を読む。 ○キーワードやキーセンテンスをとらえ、各段落を要約する。 ○段落相互の関係をとらえる。 ・原因と結果 ・具体的事例とまとめ ○文章中の言葉・絵・図の働きを理解する。	○情報の収集・選択をする。 ○「はじめ・なか1・なか2・まとめ」の基本構成をもった論理的文章を書く。 ○一つの段落に一つの内容を書く。 ○200~400字の報告文を書く。 ○「まとめ」につながる「なか1・2」を書く。 ○目的に応じたいろいろな文章を書く。	○話の中心に気をつけて聞く。 ○正しく聞く。 ・5W1H ・2つのキーワード 《○○は、△△である。》 ・話の具体例の数や内容が分かる。 ○話に対して自分の意見や感想をもつ。	○場や目的に応じた適切な音量や速さで話す。 ○伝えたいことを論理的文章の基本的構成「はじめ・なか1・なか2・まとめ」を使って話す。 ○分かりやすい説明技術を工夫して、分かりやすく伝える。 ○丁寧な言葉で話す。 ○質問に正確に答える。	
	②視写	○200字程度の文章を適切な時間内に正確に視写する。 ○1分間…20文字程度					
	③言語	○ローマ字の単語の読み書きをする。 ○漢字の読み書き ○漢字の偏・つくりについて知る。					
高学年	①音読	○なめらかに、正確に速く音読する。 ○易しい文語調の文章を音読する。 ○1分間300~350字	○文章構成（はじめ・なか・まとめ）を意識して、簡単な論理的文章教材（説明文）を読む。 ○キーワードやキーセンテンスをとらえ、各段落を要約する。 ○段落相互の関係をとらえる。 ・原因と結果 ・具体的事例とまとめ ○言葉・絵・図の働きを理解し、書くことに応用する。	○考えたことを「はじめ・なか1・なか2・まとめ（むすび）」の基本構成をもった論理的文章を書く。 ○「まとめ」につながる「なか1・2」を書き、「まとめ」を一般化した「むすび」のある意見・主張を書く。 ○目的に応じたいろいろな文章を書く。	○話し手の意図を考えながら聞く。 ○正しく聞く。 ・5W1H ・2つのキーワード 《○○は、△△である。》 ・話の具体例の数や内容が分かる。 ・キーワードをメモする。 ○話を聞いて自分の意見や感想を発表する。 ○質問を考えながら聞き、質問する。 ○自分に生かしたいことを一つ考えて聞く。	○場や目的に応じ、話型を正しく使い、適切な音量で話す。 ○伝えたいことを論理的文章の基本的構成「はじめ・なか1・なか2・まとめ・むすび」を使って話す。 ○「まとめ（考察）」「むすび（主張・意見）」と具体例が一貫している。 ○自分の意図がよく表れる具体的事例や情報を取捨選択して説明する。 ○分かりやすく説得力のある資料の示し方を工夫する。	
	②視写	○300字程度の文を正確に速く視写する。 ○視線の上下でメモやノートをとる。 ○1分間…20文字程度					
	③言語	○日常の敬語の使い方に慣れる。 ○共通語と方言の役割の違いを理解し、必要に応じて共通語で話す。 ○漢字の読み書きの習熟					